

第3期中野市保育所整備計画（素案）に対するご意見と市の考え方（まとめ）

・松川保育園保護者説明会（令和7年7月31日(木) 18時30分～）

意見の概要	市の考え方
<p>《意見1》</p> <p>■松川保育園廃止後、職員はどうなるのか。</p>	<p>《回答1》</p> <p>■他の公立保育所への異動となります。</p>
<p>《意見2》</p> <p>■他の公立保育所の定員は増えるのか。</p>	<p>《回答2》</p> <p>■現在は、就学前人口の推計値等から5年後の児童数を考えると、定員数について現状のままで足りる想定とはなりますが、あくまでも推計値であるため、5年後の状況を見て、必要な場合は定員数の増員についても検討します。</p>
<p>《意見3》</p> <p>■施設の定員は基準等に基づくものか。</p>	<p>《回答3》</p> <p>■面積等の基準を踏まえて決定しています。</p>
<p>《意見4》</p> <p>■松川保育園を廃止した場合、職員の数は足りるのか。</p>	<p>《回答4》</p> <p>■松川保育園の職員が他の公立園へと異動となることから、足りる想定となりますが、支援が必要な児童への加配を行っているなど、現状においても基準は満たしていますが十分な状況ではありません。</p>
<p>《意見5》</p> <p>■5年後松川保育園が廃止となった際に、転園先は選べるのか。</p>	<p>《回答5》</p> <p>■可能な限り希望に沿うように市で調整したいと考えていますが、施設の空き状況等により必ずしも希望通りになるとは限りません。</p>
<p>《意見6》</p> <p>■松川保育園の5年後廃止の方針をうけて、下の子の入園に併せて上の子を転園させたい、という保護者も出てくるかと思うが、2人まとめた希望する園への転園は可能か。また、更に児童数の減少が加速すると思うが、今後、廃止時期が早まるといったことはあるのか。</p>	<p>《回答6》</p> <p>■同時の入園・転園について、施設の空き状況等により、希望に沿えない場合もあります。廃止時期については、現状は児童数が減少した場合であっても、通う児童がいる限り、令和12年度末まで運営する方針としています。</p>

・松川保育園保護者アンケート（令和7年8月5日(火)～8月13日(水)）

意見の概要（原文）	市の考え方
<p>《意見1》</p> <p>■お姉ちゃんの看護があり、浣腸から胃ろうからの注入、オムツ換えや着替えなど介護も要するなか、家事、育児のみでも忙しく、中々休まる時間がなく困っています。</p>	<p>《回答1》</p> <p>■市では、登録会員の協力により、お子さんのお預かりと保育園への送迎に対応したファミリー・サポート・センター事業や、家事・育児への不安や負担を抱える子育て世帯への子育て世帯訪問支援など、母子保健と児童福祉の専門的な知識を有する職員が連携・協力し、お子さんとそのご家族に寄り添った相談・支援を行っています。</p> <p>詳しくは「市子育て課」又は「こども家庭センター（市健康づくり課・市子ども相談室）」へご相談ください。</p> <p>■市では、日常的に医療的なケアが必要な児童の保育所への受け入れ体制を整えております。</p> <p>必要な医療的ケアの内容等個別の事情による部分もありますので、詳しくは「市保育課」までご相談ください。</p>
<p>《意見2》</p> <p>■松川保育園の新規入園の受け入れは何年度までしますか？</p>	<p>《回答2》</p> <p>■計画では、令和12年度入園までは今までどおり、新規入園及び途中入園の受け入れを行うこととしております。</p>
<p>《意見3》</p> <p>■zoomでの丁寧な説明ありがとうございました。</p> <p>子供達3人みんなお世話になって通った保育園は無くなるのは寂しいですが、老朽化や少子化のことを考えるとしょうがないのかなと思います。</p> <p>これから通う予定でいた子供達が安心して次の保育園へ通えるのと、先生方も働きやすい対応をしてほしいです。</p>	<p>《回答3》</p> <p>■児童及び保護者が安心して通える環境と職員が安心して勤務できる環境の整備を進めて参ります。</p>
<p>《意見4》</p> <p>■当日出席したので、特にありません。</p>	
<p>《意見5》</p> <p>■とくにないです！</p>	
<p>《意見6》</p> <p>■ないです</p>	

意見の概要	市の考え方
<p>《意見1》</p> <p>■松川保育園はあと耐用年数が5、6年しかないところで、ダメだという結論を出しているのだと思うが、建て替えが必要なのか実際に今一番困っている職員の生の声を聞きたい。一番危ないのは道路で、玄関から直接子どもが飛び出るのが一番怖いと思う。保育園の北側の自動車屋が空いているから、土地を市で借りて、玄関の向きを変えれば過ごしやすいのではないか。それか建設組合事務所や職業訓練校の方へも移動してもらえば、有効に利用できるのではないか。</p>	<p>《回答1》</p> <p>■駐車場が狭く、危ないところは保護者の皆様にお知らせ等しながら安全に使えるように対応しております。園舎は築46年となり、電気設備や施設の不具合箇所については、修繕対応等しておりますが、床も古く、0歳児を安全に預かるのは難しいため、今は1歳児から入所をお願いしております。</p>
<p>《意見2》</p> <p>■施設的なことを言えば、躯体については定期的に必要な修繕対応等しているはずであるので、その他雨漏り対応を適切に実施さえしていけば長く利用可能であると思う。園児に対し、危険箇所があるのでここは注意してね、というのも教育だと思う。良い環境だけ整えればいい、というものではないと考える。地域で職員や園児等とすれ違った時にはあいさつもとてもよくそういう地域との関わりも大事にしたいため、今の場所（立地）も大事にしていきたい。建物が古いからというのではなく、もう少し頭を使っただき、検討をお願いしたい。また、環境だけを整備するのではなく、大人の質も上げていかなければ、良い子供は育たないと思う。</p>	<p>《回答2》</p> <p>■今後、子供の人数が更に減少すること等が懸念されることから、適正な保育所の数ということを考えて、松川保育園につきましては廃園とするものです。本計画はあくまでも人口等の推計に基づくものであることから今後2年先、5年先の状況を見たうえで判断する必要があると考えております。今後も子ども達が楽しく過ごせる環境を維持していきたいと考えております。</p>
<p>《意見3》</p> <p>■今後はたかやしろ保育園についてどうするのか、という話にもなっていくのではないかと懸念している。たかやしろ保育園の今後の見通しについてお聞きしたい。平野保育園と高丘保育園の時も情報が入ってくるのが遅かったため、情報提供はこまめに対応をお願いしたい。また、現場で働く保育士さんもこの松川保育園の件については、気にしていると思うが、どんな声があるかというのをお聞きしたい。その他、松川保育園はどうしょ</p>	<p>《回答3》</p> <p>■たかやしろ保育園については、松川保育園の次に古いこともあり、修繕など必要なものは計画的に行っております。また、今のところ廃止の予定はありませんが、子どもの人数など、今後の状況に応じて検討してまいります。今回の整備計画に関して、ホームページ等でなるべく早く情報発信してまいります。</p> <p>■職員への周知については、資料などの情報は職員に市民の皆様と同時に共有をしており、職員から</p>

<p>うもないのかもしれないが、他の保育園については、補修に必要な予算というのは適切に要求のうえ、対応をお願いしたい。最後に、総合計画との絡みや今回示された整備計画（素案）について意見があった場合に、修正いただける可能性はあるのか、お聞きしたい。</p>	<p>の意見については、園長を通じて保育課へ提出をお願いしておりますが、現在、提出はない状況です。</p> <p>■第1期及び第2期の保育所整備計画についても、変更が必要であれば都度見直しをかけてきたところであり、第3期の計画についても、来年度から5か年の計画となりますが、変更が必要な場合は見直しを行ってまいります。</p>
<p>＜意見4＞</p> <p>■4ページに未満児の保育需要が高まっているというような情報があるが、特に0歳児について、希望はあるが、公立保育所がもういっぱいではない、ということで私立の保育所へ、ということがあるが、公立は定員に対して半分程度しか入っていないという状況の中で、入りたい人が入れないという原因は何か。また、松川保育園の0歳児について、施設が心配だから0歳児の受け入れはやりませんということだが、普通はどうやったら受け入れられる施設とできるか、ということを考えるべきだと思うが、どう考えるか。</p>	<p>＜回答4＞</p> <p>■0歳児で希望者が入れないのはなぜか、という部分ですが、旧平野、旧高丘、松川保育園については、0歳児の受け入れを行っておりませんが、施設面や設備面の理由となります。旧平野・旧高丘保育園については、民設民営による建て替え後、0歳児の受け入れを行っており、0歳児の受け入れ体制は定員としても広がったと考えております。また、小規模保育施設もあることから、中野市としての受け入れ体制は整っていると考えております。また、入りたい園に入れられない方がいるという部分について、施設全体の定員とすれば余裕があったとしても特定の年齢のクラスについていっぱいになっている、という状況においてそのクラスに申込があった場合は、受け入れができていない、というのは事実となります。職員の配置により改善できる部分もあるかと思っておりますので、全国的に保育士不足という状況ではありますが、継続して職員体制についても整えていけるよう考えてまいります。</p>
<p>＜意見5＞</p> <p>■定員の見直しは検討してこなかったのでしょうか。定員に対して入園者が少なすぎるのであれば、定員を減らし、実情に合わせることで、国からくるお金が増えると思うのですが。市として交付税が少しでも多くもらえるよう工夫をお願いしたい。</p>	<p>＜回答5＞</p> <p>■私立保育所の場合は、公定価格に定員が影響しますが、公立保育所の場合は、定員が交付税の額の算定に影響しない仕組みとなっております。なお、交付税措置について、各種数値等適切に報告をしております。</p>
<p>＜意見6＞</p> <p>■松川保育園の廃止については、反対です。今松川については、世帯数が増えている地区でもあり、</p>	<p>＜回答6＞</p> <p>■松川保育園を廃止とするという方針をお示しした中で、駐車場を新規に借りるといった対応は難</p>

<p>学校が近い、保育園が近いということで言われてきたところに、松川保育園が廃止というのが公表された。園児数について、少なければ少ないなりのメリットがあると思う。ただ、先に意見があったとおり、松川保育園については、正面道路が交通量も多く、交通事故の発生が心配であり、隣地も空いていることから借りる等して早急に保護者が安心して送迎できる環境としてほしいと考える。</p>	<p>しい状況となります。職員の駐車場について、旧西友の敷地を使用するなど工夫しており、安全に配慮しながら、これまで運営してまいりました。安全確保という面については気を使うところではありますので、別の方法も含めながら今後も検討してまいります。</p>
<p>《意見7》 ■松川保育園に隣接する中高建設労働組合の駐車場は組合ではほとんど利用していないので、借りたらどうか。</p>	<p>《回答7》 ■中高建設労働組合の駐車場については、現在も利用させていただいているところです。また、イベント等がある場合については、中野地域職業訓練センターの駐車場についても一時的にお借りし、駐車場の確保に努めております。駐車場用地の購入については、令和12年度末をもって廃止という方針をお示しさせていただいた中で、難しい状況となります。</p>
<p>《意見8》 ■廃止の方針であったとしても、少しでも保護者の方が安心して利用できる環境となるよう継続して検討いただきたい。</p>	<p>《回答8》 ■令和12年度末に廃止予定だから何も手を入れないということは一切なく、必要な修繕等は行ってまいります。</p>
<p>《意見9》 ■施設のことでなく駐車場の関係についても、安全対策上必要なことだと思いますので、継続して検討をお願いします。</p>	<p>《回答9》 ■松川保育園について、今まで長い間、駐車場の確保等様々な課題について、検討・対応を重ね、現在まで安心安全な保育所運営を実現してきたところです。引き続き、安心安全な保育所運営を行っていけるように努めてまいります。</p>
<p>《意見10》 ■国が真剣に取り組むべきところだと思うが、市として保育士の処遇改善への取り組みはどうか。</p>	<p>《回答10》 ■手当等も含めて給与面の改善について、取り組んでおります。また、残業抑制等働き方についても、園と連携しながら必要な取り組みを行っております。</p>
<p>《意見11》 ■松川保育園の立地について、中野地区の北部をカバーする園としての位置付けだったと考えるがどうか。また、7ページに記載の運営費の状況について、一般財源が約94%という記載があるが、</p>	<p>《回答11》 ■松川保育園を廃止するという方針を今回出させていただいた中で、保護者の方々からのご意見やパブリックコメントでのご意見で立地の部分について送迎対応等のご意見があるようでしたら</p>

<p>全て税収で賄われているかのような印象を受けるので、交付税が主な財源という部分も説明した方がよいと思う。また、保育所について、適正配置という話をされたが、場所（立地）についてはとても重要な要素なので、今まで通っていた地区の方々はどのようになるのか、という部分について丁寧な説明が必要と考えます。</p>	<p>検討してまいります。</p>
<p>《意見12》</p> <p>■ 5年後に廃止する園で働く職員がどのように感じるのか、受け止めているのか、という部分について気になりますが、どうでしょうか。</p>	<p>《回答12》</p> <p>■ 5年後に廃止というのは残念ではありますが、通園する園児が少しでもこの園で楽しい思い出が作れるような保育園づくりをしていきたい、という思いを職員間で改めて共有したところとなります。地域の方から、とてもいい保育園である、というお褒めの声をたくさんいただけたということはとても嬉しいことであり、座談会でいただいたご意見等について、園の職員にも共有します。</p>
<p>《意見13》</p> <p>■ 保護者の方からの意見（反応）は何かありましたか。また、保育園がなくなることで更に産み育てる環境が悪くなり、人口が減少するのではないかと考えるが、どうか。</p>	<p>《回答13》</p> <p>■ 兄弟がいる場合の入園について上の子は卒園できるが下の子は廃止となってしまうので卒園できず転園となってしまうということについて質問がありました。転園については、保護者の希望をお聞きしながら対応していきたいという話をさせていただいたところです。また、新規入園児の受け入れはいつまで行うのかという質問もありましたので、令和12年度まで今まで通り行う予定であるということをお返答させていただきました。</p> <p>■ 産み育てる環境や人口減少については、市全体として、どのような子育て支援が必要か、ということをお考えながら、一人でも多くの方に子育てしやすいと感じていただけるような環境を整備してまいりたいと考えています。</p>

・子ども・子育て会議（令和7年9月29日(月) 16時～）

意見の概要	市の考え方
<p>《意見1》</p> <p>■松川地区・東吉田地区など近隣の子どもの割合が多い。さくら保育園及びひまわり保育園の定員でカバー可能なのか。定員増やさくら保育園を大きくするのか。</p>	<p>《回答1》</p> <p>■少子化の影響による児童数の減少や近隣の私立保育所（中野マリア幼稚園及びひよこ保育園）も考慮し、受け入れ可能となる想定ですが、今後の状況に応じて計画の見直し等検討してまいります。</p>
<p>《意見2》</p> <p>■給食提供において、宗教等による食事の制限は対応可能なか。</p>	<p>《回答2》</p> <p>■食事制限の内容にもよるため、個別相談とし、対応が難しい場合については、弁当の持参により対応をお願いする場合があります。</p>
<p>《意見3》</p> <p>■市民懇談会に参加したが、参加者が数人であり、それでは、やりました、というには不十分。集客努力の上でもう1回開催すべきではないか。</p>	<p>《回答3》</p> <p>■各種活用可能な周知媒体は使い切って周知しましたが、少人数の参加となったものです。改めて説明が必要であればこちらからいつでも説明に伺います。なお、ホームページ等において、こまめに情報発信を行ってまいります。</p>

意見の概要（原文）	市の考え方
<p>《意見1》</p> <p>■保育園整備は将来の中野市の人口減少防止の為、必要な事業だと思います！同時に中野市に移住しても不安の無い育成と就労先の安定が、不可欠だと思います。その為にも大手企業などの誘致、農業収入の安定が必要だと思います。</p>	<p>《回答1》</p> <p>■ご意見として承り、子どもにとって、安心・安全な保育環境の提供を目指してまいります。</p>
<p>《意見2》</p> <p>■少子化進行で保育園減少は仕方ないのでは。子供が地域にまんべんなく増える施策を望む。</p>	<p>《回答2》</p> <p>■ご意見として承り、子どもにとって、安心・安全な保育環境の提供を目指してまいります。</p>
<p>《意見3》</p> <p>■3・4年前保育園の給食室が無くなるかもと言われてすごく心配していたが今は戻っているようで安心した。バランスも味も良く、お友達と食べるので食育の面でも親としてとても頼りにしていたので。財源があるのであれば保育料無償化も良いが無ければ（給食費も含め）必要最低限はいただき、その代わりしっかり安定の保育を提供するほうが支持されると思う。【以下、本計画に係るご意見ではないため、担当課へ共有いたします。】</p>	<p>《回答3》</p> <p>■給食提供について、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」で自園調理が原則のため、給食設備を廃止する予定はありません。今後も、安心・安全、かつ園児に喜んでいただける給食提供を行ってまいります。</p>
<p>《意見4》</p> <p>■「三位一体の改革」は、改革による急激な歳入不足と地方への負担増が、住民サービスの低下や都市と地方の格差拡大を助長したことです。この改革は国庫補助負担金の改革、税源移譲、地方交付税改革を一体的に行い、地方の自立と責任を確立することを目指しましたが、実施後に財政運営に大きな影響が出たと指摘されています。改革によって地方自治体の歳入が急激に不足し、財政運営に大きな負担がかかりました。その結果、住民に身近な行政サービスが削減され、住民からの不満につながりました。また、行政サービスに係る職員の働き方も変えられました。また、地方間の格差を生じ、歳入不足は、都市と地方の格差をむしろ助長する結果を招きました。国の関与が縮小され、地方が本来持つべき財源と権限の拡大が目指</p>	<p>《回答4》</p> <p>■少子化や保育ニーズの多様化など時代の要請に適切に対応していくため、公立保育所の役割を明確化したうえで、公立・民間を含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく必要があります。</p> <p>松川保育園につきましては、施設の老朽化が著しいことや、今後、就学前児童の更なる減少が見込まれること、近隣の保育施設で保育需要を満たすことができることから、安心・安全な保育園運営を行うため、令和12年度末を目標に廃止するものです。</p>

されましたが、実質的には地方自治体の財政負担が増加する形となりました。それを踏まえまして、中野市行政は、市民にとってのサービスとは何なのかを見直すべきではないでしょうか？松川保育園は居住区児童数率が91.9%と、地元で愛されている保育所を、廃止にするのではなく、規模（延床面積）を縮小改修工事をし、床面積を減らした分、駐車場の拡張の検討をお願いします。児童福祉施設設置基準法（厚労省）で利用されている児童率から調べると、延床面積は、現在の延べ床面積今よりも半分にしてでも十分運営できる基準だと思います。廃止にしてしまわず、規模を小さくして、地域に残すことを願います。

■ 6 ページ下の図で定員数に誤りがあります。認定区別 1 号～ 3 号まで含めると、マリア定数170 人新高丘の定員は90人、新平野が定員160人です。

■ 令和 7 年度の税収が27,094,000,000円に対して、公立保育運営費が1,140,890,000円。比率は全体の 4 %しか比率掛かっておりません。公的保育施設運営費が全体の 4 %。たったの 4 %って何処が市税の圧迫と言えるのですか？私達、中野市民が頑張っって汗水流して稼いだ血税を、中野市民の為に使ってください。中野市民で良かった。中野市民で安心した。中野市で子育てがしたい。中野市で子を産みたい。市民から、そう思ってもらえる様な行政を務めてください。真面目にやってきた人が、報われる中野市を目指しませんか？最後に個人的な意見ですが、保育施設＝サービスではなく、子供達の探求心を育てる場だと思います。その地域、その地域で、施設や環境づくりを行政は、大切にして保持して、維持していくことが一丁目一番地ではないでしょうか？

■ 本計画においては、ご家庭で日々児童を保育することができず、保育を必要とする世帯への環境等を整備する計画であるため、2号認定及び3号認定の定員を記載しています。

■ ご意見として承り、子どもにとって、安心・安全な保育環境の提供を目指してまいります。

令和7年度第1回中野市保育所等運営審議会 会議録要旨抜粋

日 時	令和7年5月7日（水） 18:00～19:00
会 場	会議室 21
出席者	<p>【委員】</p> <p>中村幹夫委員、若林幸裕委員、小林啓治委員、西原芳子委員、岸田裕司委員、西澤可奈恵委員、澤田由美子委員、勝山裕二委員</p> <p>【事務局】</p> <p>子ども部長、保育課長、保育課長補佐兼施設係長、保育係長、金井主任主事</p>
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 会長、副会長の互選について</p> <p>5 協議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 公立保育所における主食提供について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 中野市保育所整備計画について</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p>
資 料	<p>資料1 諮問書</p> <p>資料2 主食の提供について</p> <p>資料3 第3期中野市保育所整備計画策定方針（案）</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p style="padding-left: 20px;">保育課長</p> <p>2 あいさつ</p> <p style="padding-left: 20px;">子ども部長</p> <p>3 自己紹介</p> <p style="padding-left: 20px;">各委員、事務局</p> <p>4 会長の互選について</p> <p style="padding-left: 20px;">会長に中村委員、副会長に若林委員を互選</p> <p>5 会議事項</p> <p>(1)公立保育園における主食提供について</p> <p style="padding-left: 20px;">(略)</p> <p>(2) 中野市保育所整備計画について</p> <p>【施設係長】</p> <p style="padding-left: 20px;">資料3に基づき説明</p> <p>【会長】</p> <p style="padding-left: 20px;">松川保育園について今後の方針となっているが、ほかの園は新しくなったが。</p> <p>【委員】</p>

現在の松川保育園は古い。ほかの園は床暖房があったりしている。駐車場が狭い、入り口も狭い。荷物をもって子どもを連れての乗車などが大変である。

また駐車場に雨水排水の溝があり車の乗り入れも大変な箇所がある。

【会長】

今の意見のとおり、現在の状況で改善できるようことはあるか。

【事務局】

駐車場を広くすることは無理だが、出来ることは修繕、改善等していきたい。今後の園児数も考慮しながら、建物も含めどうするか検討していきたい。

【会長】

白線やゾーンを設け整理できないか。

【事務局】

区画線を引くことは可能だが、狭い駐車場なのでゾーンを設けることは難しい。

【会長】

敷地、建物配置の問題もあるが、現状で他の園と利用に差がないように努めて欲しい。

【委員】

今回は策定方針（案）ということだが、次回には具体的な計画が示されるのか。

【事務局】

次回には計画（素案）を示す予定である。

【会長】

以上で議事進行を終了させていただく。

6 その他

みなみ保育園の通園バスについて、利用者が減少している。今後の在り方の検討を本審議会の意見を聞きながら進めていきたい。

次回は、7/2を予定している。改めて、開催通知をお送りする。

7 閉会

【終了 19:00】

令和7年度第2回中野市保育所等運営審議会 会議録要旨抜粋

日 時	令和7年7月2日（水） 18:00～19:12
会 場	会議室 21
出席者	<p>【委員】 中村幹夫委員、若林幸裕委員、小林啓治委員、西原芳子委員、岸田裕司委員、西澤可奈恵委員、澤田由美子委員、勝山裕二委員</p> <p>【事務局】 市長、子ども部長、保育課長、保育課長補佐兼施設係長、保育係長、金井主任主事</p>
次 第	1 開会 2 あいさつ 3 諮問 第3期中野市保育所整備計画（素案） 4 協議事項 (1) 公立保育所における主食提供について (2) 第3期中野市保育所整備計画（素案）について 5 その他 6 閉会
資 料	資料1 主食の提供について 資料2 第3期中野市保育所整備計画（素案）
内 容	1 開会 保育課長 2 あいさつ 中村会長 3 諮問 (市長あいさつ) (市長より会長へ諮問書を渡す) (公務のため、市長退席) 4 会議事項 (1)公立保育園における主食提供について (略) (2)第3期中野市保育所整備計画（素案）について 【課長補佐兼施設係長】 ※ 資料2に基づき説明 【委員】 松川保育園の保護者や地域への説明は。 【事務局】 松川保育園の保護者及び地域住民等への説明会・座談会を実施する予定となります。

また、本日の説明事項について、本日の会議終了後に保育所職員宛て、明日、保護者宛てにそれぞれ情報配信ツールにより情報共有する予定となります。

【委員】

車社会であり、保護者による送り迎え対応は可能ではあるが、地域の保育園を残してほしいという要望もあるかと思うので、くれぐれも丁寧な説明をお願いしたい。

【委員】

旧平野保育園及び旧高丘保育園が建て替えを伴う民営化を行った中で、松川も同様の考え方となるのではないかと考える方もいると思うので、今回廃止という内容が示されたことから、丁寧な説明をお願いしたい。また、旧平野保育園と旧高丘保育園が廃止となり、平野さつきこども園と高丘さつきこども園が開園したが、私立園となり、公立園との関わりが薄くなった部分について残念に感じる。公立・私立を分けることなく、中野市の保育園として一緒に考える場として、交流の機会等があるとよいと感じる。

今回示された計画においては、施設のことが中心に記載されているが、保育士や子どものことも考えて、計画の策定をお願いしたい。

【事務局】

中野市全体として、公立と私立の交流・情報交換できる場や方法について、検討していきたい。

【委員】

計画にも具体的に盛り込んでもらえるといいのではないかと。

【委員】

計画の素案を見て、児童数の減少について感じる。計画の中にも記載があるが、国の施策であるため仕方がないかもしれないが、財政支援をするから民間に任せられるものは民間に、という考えのみで民営化をすすめていく、というのはどうか、と疑問に感じる。子どものことをしっかりと考えながら進めていただきたい。

【事務局】

現在の第2期の計画においては国の三位一体の改革の流れの中で民間活用という部分に基づき民営化を進めてきたところですが、今後につきましては、あくまでも児童数の状況等も考慮しながら、必要な対応を行っていくということであり、第3期の計画においても記載しているものとなります。そういう部分についても、丁寧な説明をしていくこととします。

5 その他

特になし

6 閉会

【終了 19:12】

第3期中野市保育所整備計画（素案）に係る松川保育園保護者説明会 顛末	
日 時	令和7年7月31日（木）午後6時30分～午後7時20分
会 場	松川保育園延長保育室
出席者	<p>【保護者】 現地参加：4名／オンライン参加：11名 <計>15名</p> <p>【報道機関等】 北信ローカル社／信濃毎日新聞社 <計>2社</p> <p>【事務局（中野市子ども部）】 子ども部長、保育課長、課長補佐兼施設係長、保育係長、 全公立保育所園長（7名）、施設係担当、保育係担当 <計>13名</p>
配布資料	次第、第3期中野市保育所整備計画（素案）

【協議会内容】

1 開 会 (保育課長)	(略)
2 あいさつ (子ども部長)	(略)
3 説明 (保育課長補佐)	<p>資料「第3期中野市保育所整備計画（素案）」に基づき説明</p> <p><u>P 1</u></p> <p>平成19年11月に第1期中野市保育所整備計画を策定し、保育所の整備、民営化の推進等、国が定める保育指針等に基づいて、公立、民間の区別なく、安心安全な保育を実施してきた。</p> <p>少子化が進行するとともに、障がい児、医療的ケア児など支援が必要な児童に対する保育需要の高まりや令和8年度から開始するこども誰でも通園制度といった新たな保育需要が生じている状況。</p> <p>こういったものに適切に対応していくために、公立保育所の役割を明確化した上で、公立・民間含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく目的で、第3期中野市保育所整備計画を策定するもの。</p> <p>計画期間は令和8年度から令和12年度の5か年とし、環境に大きな変化があった場合には、都度、計画の見直しを行うこととする。</p> <p><u>P 2・3</u></p> <p>整備計画の進捗状況として、平成19年度から令和2年度までの第1期計画において、みよし保育園の廃止、さくら保育園及び病児・病後児保育施設の新設、ひまわり保育園（旧西町保育園）</p>

及びみなみ保育園、ひらおか保育園の建て替えを実施し、令和3年度から令和7年度までの第2期計画において、長丘保育園の廃止、永田保育園と豊井保育園の統合（とよた保育園）、民設民営による平野・高丘保育園の建て替えを実施したもの。

中野市の人口等現状について、総人口及び就学前人口について、いずれも減少傾向が続いているが、核家族化、共働き世帯の増加等により保育所入所率については、増加傾向となっている。

P 4・5・6

公立保育所の児童数については、全公立保育所について令和6年度と令和7年度を比較した際に児童数が減少しており、松川保育園については、定員160名に対して、令和6年度の児童数は93名、令和7年度の児童数は74名となり、定員に対する入所率は令和7年度46.2%となっている。公立保育所全体でも定員に対する入所率は59.2%となっており、どの公立保育所においても受け入れは十分に可能な定員数となっている状況。

私立保育所等については、令和6年度と令和7年度を比較した際も児童数はほぼ横ばいの状態となっており、どの私立保育所等においても、ほぼ定員数通りの児童数となっており、児童数は安定している状況。

公立・私立各保育所等の入所児童の居住地区割合については、概ね各保育所等がある地区の居住者の割合が多く、自宅から近い、保護者の勤務地が近い、通勤経路、開所時間や延長保育時間等様々な理由により選ばれているものと思われる。

P 7

施設の状況について、松川保育園は建築年が昭和53年であり、現在、築46年となる。また、たかやしろ保育園についても、建築年が平成13年度であり、現在、築23年となる。現在、この2つの園の老朽化が進んでいる状況。

とよた保育園は建築年が平成5年度であり、築31年となるが、永田保育園と豊井保育園の統合に当たり令和3年度に大規模改修を行っており、建物としては健全な状況。

なお、松川保育園及びひまわり保育園、ひらおか保育園については、備考欄に記載のとおり、園の敷地に一部借地がある状況となる。

P 8・9

現状に対する課題について、ここまでの説明の中でも触れさせていただいた内容から、松川保育園については検討が必要な

状況である。

理由について、まず、園舎の築年数が46年となり、給排水設備や電気設備の老朽化により、故障や不具合が頻繁に発生している状況。施設の老朽化に伴い今後も修繕費が増加することが見込まれる状況。

また、駐車場の手狭ということで、他の公立保育所に比べて、駐車場の敷地が大変狭く、駐車場の台数がかなり少ない状況。

保護者の皆さんにはご不便の方をおかけしているが、隣接する建物もあり、拡幅は難しい状況。駐車場については、少しでも何かできることがないか、検討しているところ。

併せて、入園希望者の減少もあり、児童数は昨年度に比べて19人減少し、対定員率も46.2%となっている状況。松川保育園の入所児童の年齢別・居住地区割合では、5歳児（年長）の人数が24人となっており、来年3月に卒園すると児童数50人となり、来年度新規に入園する児童数が何人かにもよるが今年度と同様に12人程度ということであれば、来年度は60人前後の児童数となる状況。

このような状況を踏まえ、今後の方針として、適正規模・適正配置による保育所運営を行うため、松川保育園について令和12年度末を目標に廃止とする。なお、新規入園者及び中途入園者の受け入れについては、これまで通りとし、令和12年度まで行う予定。

P10

保育所の民営化については、民間活力の導入について引き続き検討するものとするが、今日現在、具体的な計画はなく、今後の状況等を踏まえ、必要に応じて検討するものとする。

P11・12

保育サービスの充実について、家族構成や就労形態の変化に伴い、多様化する保育需要に対応するため、延長保育や一時的保育、休日保育等必要な取り組みを行うものとする。

4 質疑応答

Q1（保護者）

松川保育園廃止後、松川保育園の職員はどうなるのか。

A1（保育課長）

他の公立保育所への異動となる。

Q2（保護者）

他の公立保育所の定員は増えるのか。

A2（保育課長）

現在は、就学前人口の推計値等から5年後の児童数を考えると、定員数について現状のままで足りる想定とはなるが、あくまでも推計値であるため、5年後の状況を見て、必要な場合は定員数の増員についても検討する。

- Q 3 (保護者) 施設の定員は基準等に基づくものなのか。
 A 3 (保育課長) 面積等の基準を踏まえて決定している。
- Q 4 (保護者) 松川保育園を廃止した場合、職員の数は足りるのか。
 A 4 (保育課長) 松川保育園の職員が他の公立園へと異動となることから、足りる想定となるが、支援が必要な児童への加配を行っているなど、現状においても基準は満たしているが十分な状況でない。
- Q 5 (保護者) 5年後松川保育園が廃止となった際に、転園先は選べるのか。
 A 5 (保育課長) 可能な限り希望に沿うように市で調整したいと考えているが、施設の空き状況等により必ずしも希望通りになるとは限らない。
- Q 6 (保護者) 今回示された松川保育園の5年後廃止の方針をうけて、下の子の入園に併せて上の子も転園させたい、という保護者も出てくるかと思うが、2人まとめた希望する園への転園は可能か。また、更に児童数の減少が加速すると思うが、今後、廃止時期が早まるといったことはあるのか。
 A 6 (保育課長) 同時の入園・転園について、施設の空き状況等により、希望に沿えない場合もある。廃止時期については、現状は児童数が減少した場合であっても、通う児童がいる限り、令和12年度末まで運営する方針としている。
- 5 その他
 (保育課長補佐) 第3期中野市保育所整備計画の策定に向け、市民向けの座談会を次のとおり開催する。
 タイトル) 安心・安全な保育環境を考える市民座談会
 ～第3期中野市保育所整備計画の策定に向けて～
 日時) 令和7年8月23日(土) 午前10時から
 会場) 中野市市民会館ソソラホール 小ホール
 対象者) 中野市民
 その他) 託児所あり
- 6 閉会
 (保育課長)
 (終了時間) 午後7時20分

第3期中野市保育所整備計画（素案）等に対するご意見と市の考え方

「松川保育園保護者アンケート」

- (1) 募集期間 令和7年8月5日（火）～8月13日（水）
 (2) 対象者 松川保育園在園児79名の保護者
 (3) 意見提出 6名

意見の概要（原文）	市の考え方
<p>≪意見1≫</p> <p>■お姉ちゃんの看護があり、浣腸から胃ろうからの注入、オムツ換えや着替えなど介護も要するなか、家事、育児のみでも忙しく、中々休まる時間がなく困っています。</p>	<p>≪回答1≫</p> <p>■市では、登録会員の協力により、お子さんのお預かりと保育園への送迎に対応したファミリー・サポート・センター事業や、家事・育児への不安や負担を抱える子育て世帯への子育て世帯訪問支援など、母子保健と児童福祉の専門的な知識を有する職員が連携・協力し、お子さんとそのご家族に寄り添った相談・支援を行っています。</p> <p>詳しくは「市子育て課」又は「こども家庭センター（市健康づくり課・市子ども相談室）」へご相談ください。</p> <p>■市では、日常的に医療的なケアが必要な児童の保育所への受け入れ体制を整えております。</p> <p>必要な医療的ケアの内容等個別の事情による部分もありますので、詳しくは「市保育課」までご相談ください。</p>
<p>≪意見2≫</p> <p>■松川保育園の新規入園の受け入れは何年度までしますか？</p>	<p>≪回答2≫</p> <p>■計画では、令和12年度入園までは今までどおり、新規入園及び途中入園の受け入れを行うこととしております。</p>
<p>≪意見3≫</p> <p>■zoomでの丁寧な説明ありがとうございました。子供達3人みんなお世話になって通った保育園は無くなるのは寂しいですが、老朽化や少子化のことを考えるとしょうがないのかなと思います。これから通う予定でいた子供達が安心して次の保育園へ通えるのと、先生方も働きやすい対応をしてほしいです。</p>	<p>≪回答3≫</p> <p>■児童及び保護者が安心して通える環境と職員が安心して勤務できる環境の整備を進めて参ります。</p>
<p>≪意見4≫</p> <p>■当日出席したので、特にありません。</p>	<p></p>
<p>≪意見5≫</p> <p>■とくにないです！</p>	<p></p>
<p>≪意見6≫</p> <p>■ないです</p>	<p></p>

安心・安全な保育環境を考える市民座談会 ～第3期中野市保育所整備計画の策定に向けて～ 顛末	
日 時	令和7年8月23日（土）午前10時～午後0時05分
会 場	ソソラホール小ホール
出席者	【中野市民】 13名 【報道機関等】 北信ローカル社 【事務局（中野市子ども部）】 子ども部長、保育課長、課長補佐兼施設係長、保育係長、 公立保育所園長（6名）、保育係担当 <計>11名
配布資料	次第、第3期中野市保育所整備計画（素案）

【協議会内容】

1 開 会 (保育課長)	(略)
2 あいさつ (子ども部長) (松川保育園長)	(略)
3 説明 (保育課長補佐)	<p>資料「第3期中野市保育所整備計画（素案）」に基づき説明</p> <p><u>P 1</u></p> <p>平成19年11月に第1期中野市保育所整備計画を策定し、保育所の整備、民営化の推進等、国が定める保育指針等に基づいて、公立、民間の区別なく、安心安全な保育を実施してきた。</p> <p>少子化が進行するとともに、障がい児、医療的ケア児など支援が必要な児童に対する保育需要の高まりや令和8年度から開始することも誰でも通園制度といった新たな保育需要が生じている状況。</p> <p>こういったものに適切に対応していくために、公立保育所の役割を明確化した上で、公立・民間含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく目的で、第3期中野市保育所整備計画を策定するもの。</p> <p>計画期間は令和8年度から令和12年度の5か年とし、環境に大きな変化があった場合には、都度、計画の見直しを行うこととする。</p> <p><u>P 2・3</u></p> <p>整備計画の進捗状況として、平成19年度から令和2年度までの第1期計画において、みよし保育園の廃止、さくら保育園及び病児・病後児保育施設の新設、ひまわり保育園（旧西町保育園）</p>

及びみなみ保育園、ひらおか保育園の建て替えを実施し、令和3年度から令和7年度までの第2期計画において、長丘保育園の廃止、永田保育園と豊井保育園の統合（とよた保育園）、民設民営による平野・高丘保育園の建て替えを実施したものの。

中野市の人口等現状について、総人口及び就学前人口について、いずれも減少傾向が続いているが、核家族化、共働き世帯の増加等により保育所入所率については、増加傾向となっている。

P 4・5・6

公立保育所の児童数については、全公立保育所について令和6年度と令和7年度を比較した際に児童数が減少しており、松川保育園については、定員160名に対して、令和6年度の児童数は93名、令和7年度の児童数は74名となり、定員に対する入所率は令和7年度46.2%となっている。公立保育所全体でも定員に対する入所率は59.2%となっており、どの公立保育所においても受け入れは十分に可能な定員数となっている状況。

私立保育所等については、令和6年度と令和7年度を比較した際も児童数はほぼ横ばいの状態となっており、どの私立保育所等においても、ほぼ定員数通りの児童数となっており、児童数は安定している状況。

公立・私立各保育所等の入所児童の居住地区割合については、概ね各保育所等がある地区の居住者の割合が多く、自宅から近い、保護者の勤務地が近い、通勤経路、開所時間や延長保育時間等様々な理由により選ばれているものと思われる。

P 7

施設の状況について、松川保育園は建築年が昭和53年であり、現在、築46年となる。また、たかやしる保育園についても、建築年が平成13年度であり、現在、築23年となる。現在、この2つの園の老朽化が進んでいる状況。

とよた保育園は建築年が平成5年度であり、築31年となるが、永田保育園と豊井保育園の統合に当たり令和3年度に大規模改修を行っており、建物としては健全な状況。

なお、松川保育園及びひまわり保育園、ひらおか保育園については、備考欄に記載のとおり、園の敷地に一部借地がある状況となる。

P 8・9

現状に対する課題について、ここまでの説明の中でも触れさせていただいた内容から、松川保育園については検討が必要な状況である。

理由について、まず、園舎の築年数が46年となり、給排水設備や電気設備の老朽化により、故障や不具合が頻繁に発生している状況。施設の老朽化に伴い今後も修繕費が増加することが見込まれる状況。

また、駐車場の手狭ということで、他の公立保育所に比べて、駐車場の敷地が大変狭く、駐車場の台数がかなり少ない状況。

保護者の皆さんにはご不便の方をおかけしているが、隣接する建物もあり、拡幅は難しい状況。駐車場については、少しでも何かできることがないか、検討しているところ。

併せて、入園希望者の減少もあり、児童数は昨年度に比べて19人減少し、対定員率も46.2%となっている状況。松川保育園の入所児童の年齢別・居住地区割合では、5歳児（年長）の人数が24人となっており、来年3月に卒園すると児童数50人となり、来年度新規に入園する児童数が何人かにもよるが今年度と同様に12人程度ということであれば、来年度は60人前後の児童数となる状況。

このような状況を踏まえ、今後の方針として、適正規模・適正配置による保育所運営を行うため、松川保育園について令和12年度末を目標に廃止とする。なお、新規入園者及び中途入園者の受け入れについては、これまで通りとし、令和12年度まで行う予定。

P10

保育所の民営化については、民間活力の導入について引き続き検討するものとするが、今日現在、具体的な計画はなく、今後の状況等を踏まえ、必要に応じて検討するものとする。

P11・12

保育サービスの充実について、家族構成や就労形態の変化に伴い、多様化する保育需要に対応するため、延長保育や一時的保育、休日保育等必要な取り組みを行うものとする。

4 質疑応答 Q1（参加者）

松川保育園はあと耐用年数が5、6年しかないところで、ダメだという結論を出しているのだと思うが、建て替えが必要なのか実際に今一番困っている職員の生の声を聞きたい。一番危ないのは道路で、玄関から直接子どもが飛び出るのが一番怖いと思う。保育園の北側の自動車屋が空いているから、土地を市で借りて、玄関の向きを変えれば過ごしやすいのではないか。

それか建設組合事務所や職業訓練校の方へも移動してもらえば、有効に利用できるのではないか。

環境はすごくいいと思う。山も近い。ただ、大きな道路が目の

A 1 (松川保育園長)

前にあること、駐車場の都合があるけれども、木造でも 60 年持って古民家の人気があるような時代である。

地域の方に心配していただけることは、本当にありがたいと感じています。駐車場が狭く、危ないところは保護者の皆様にお知らせ等しながら安全に使えるように対応しています。

園舎は築 46 年となると、電気設備や施設の不具合が色々出てきていますが、保育課と相談して修繕対応等しています。

室内は現状では床も古く、0 歳児を安全に預かるのは難しいところもあり、今は 1 歳児から入所をお願いしています。

Q 2 (参加者)

いい保育園なんだなと思って感心している。施設的なことを言えば、躯体については定期的に必要な修繕対応等しているはずであるので、その他雨漏り対応を適切に実施さえしていけば長く利用可能であると思う。園児に対し、危険箇所があるのでここは注意してね、というのも教育だと思う。良い環境だけ整えればいい、というものではないと考える。地域で職員や園児等とすれ違った時にはあいさつもとてもよくそういう地域との関わりも大事にしたいため、今の場所(立地)も大事にしていきたい。建物が古いからというのではなく、もう少し頭を使っていただき、検討をお願いしたい。また、環境だけを整備するのではなく、大人の質も上げていかなければ、良い子供は育たないと思う。

A 2 (保育課長)

ご意見ありがとうございます。

先を見越して考えていっていただきたいというご意見もいただいた中で、今回ご説明をさせていただいた通り、今後、子供の人数が減ってくるというところで、適正な保育所の数ということを考えて、松川保育園につきましては廃園という状況となる。そういった中で、いただいたご意見や人口等はあくまでも推計であることから今後 2 年先、5 年先の状況を見たいうで判断する必要があると考えています。また、先ほどお話いただきました、松川保育園の子ども達が生き生きとしているという部分について、今後も子ども達が楽しく過ごせる環境を維持していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

Q 3 (参加者)

今後はたかやしろ保育園についてどうするのか、という話にもなっていくのではないかと懸念している。たかやしろ保育園の今後の見通しについてお聞きしたい。平野保育園と高丘保育園の時も情報が入ってくるのが遅かったため、情報提供はこまめに対応をお願いしたい。また、現場で働く保育士さんもこの松川保育園の件については、気にしていると思うが、どんな声があるかということをお聞きしたい。その他、松川保育園はどうしようもないのかもしれないが、他の保育園については、補修に必要な予算というのは適切に要求のうえ、対応をお願いしたい。最後に、総合計画との絡みや今回示された整備計画(素案)について

意見があった場合に、修正いただける可能性はあるのか、お聞きしたい。

A 3 (保育課長)

たかやしろ保育園はどうなるのかについては、松川保育園の次に古いこともあり、修繕など必要なものは計画的に行っていきます。廃止は今のところ予定はありませんが、子どもの人数など、そういったところで今後検討していく部分かと思います。

高丘と平野保育園の民設民営の時に情報発信や説明するのが遅かったのではないかということから、今回の整備計画では早め早めに、ホームページに保育所等運営審議会や今回の説明会など、なるべく早く発信していきたいと考えております。

職員への周知につきましては、資料などの情報は職員に市民の皆様と同時に共有をしているところです。職員からの意見については、園長を通じて保育課の方へということをお願いをしているところではありますが、現在、提出はない状況です。

保育所の修繕対応については、水漏れ対応等必要な部分については、園と連絡を取りながら対応をしています。

また、第1期及び第2期の保育所整備計画についても、変更が必要であれば都度見直しをかけてきたところです。第3期の計画についても、来年度から5か年の計画となりますが、こちらの想定と変わってくる部分等も出てくると思いますので、その場合は見直しを行いたいと考えています。

A 3 (子ども部長)

今回は、保育所整備計画の話となりますが、現在策定中の総合計画とも整合性を図っていく形となります。市全体としてどのような施設を残し、修繕等していくのか、運営していくのか、というのは市全体の中の方針で検討しているところとなりますので、今回お示しさせていただいた保育所整備計画の素案については、そういった市全体の流れの中で、検討し、お示ししているもの、ということでご理解をお願いします。また、審議会等の情報についても、できるだけ早く公開して皆様からの意見をいただき、審議会の中でしっかり議論していくことが大事だと考えています。

要望 (参加者)

園長の方々への要望ということになるかと思うが、職員会議等で職場の方々も保育内容だけではなく施設整備に関する事等も議論できるようなそういう環境づくりをお願いしたい。

Q 4 (参加者)

4ページに未満児の保育需要が高まっているというような情報があるが、特に0歳児について、希望はあるが、公立保育所がもういっぱい入れない、ということで私立の保育所へ、ということがあるが、公立は定員に対して半分程度しか入っていないという状況の中で、入りたい人が入れないという原因は何か。また、松川保育園の0歳児について、施設が心配だから0歳児の受け入れはやりませんということだが、普通はどうやったら受け入れられる施設とできるか、ということを考えるべきだと思う

A 4 (保育課長)

が、どう考えるか。

1点目の0歳児で希望者が入れないのはなぜか、という部分ですが、旧平野、旧高丘、松川保育園については、0歳児の受け入れを行っていないのですが、施設面や設備面の理由によることとなります。旧平野・旧高丘保育園については、民設民営による建て替え後、0歳児の受け入れを行っており、0歳児の受け入れ体制は定員としても広がったと考えておりますし、小規模保育施設もあることから、中野市としての受け入れ体制は整ってきているというように考えています。

また、入りたい園に入れられない方がいるという部分についてですが、施設全体の定員とすれば余裕があったとしても特定の年齢のクラスについていっぱいになっている、という状況においてそのクラスに申込があった場合は、受け入れができていない、というのは事実となります。ただ、希望したところに受け入れができるように改善していくべきでないか、というご意見もいただいた中で、職員の配置により改善できる部分もあろうかと思いますので、全国的に保育士不足という状況ではありますが、継続して職員体制についても整えていけるよう考えていきたいと思えます。

Q 5 (参加者)

定員の見直しは検討してこなかったのでしょうか。定員に対して入園者が少なすぎるのであれば、定員を減らし、実情に合わせることで、国からくるお金が増えると思うのですが。市として交付税が少しでも多くもらえるよう工夫をお願いしたい。

A 5 (保育課長)

私立保育所の場合は、ご指摘のとおり、公定価格に定員が影響するのですが、公立保育所の場合は、定員が交付税の額の算定に影響しない仕組みとなっています。なお、交付税措置については、各種数値等適切に報告をしているところですので、よろしく申し上げます。

Q 6 (参加者)

松川保育園の廃止については、反対です。今松川については、世帯数が増えている地区でもあり、学校が近い、保育園が近いということ言われてきたところに、松川保育園が廃止というのが公表された。園児数について、少なければ少ないなりのメリットがあると思う。ただ、先に意見があったとおり、松川保育園については、正面道路が交通量も多く、交通事故の発生が心配であり、隣地も空いていることから借りる等して早急に保護者が安心して送迎できる環境としてほしいと考える。

A 6 (子ども部長)

駐車場で足りない部分は土地を借りたらいいのではないかとのご意見でしたが、今回、整備計画の素案の中で、松川保育園を廃止とするという方針をお示しした中で、そういった対応というのは難しい状況となります。先ほど、園長からも話がありましたが、職員の駐車場については旧西友の敷地を使用するなど工夫しており、保護者の皆さんにはご不便をおかけしては

- れども、安全に配慮しながら、これまで運営してきたわけです。安全確保という面では非常に気を使うところではありますので、別の方法も含めながら検討していきたい。
- Q 7 (参加者) 松川保育園に隣接する中高建設労働組合の駐車場は組合ではほとんど利用していないので、借りたらどうか。
- A 7 (保育課長) 中高建設労働組合の駐車場については、現在も利用させていただいているところです。また、イベント等がある場合については、中野地域職業訓練センターの駐車場についても一時的にお借りし、駐車場の確保に努めているところです。土地を購入したらどうか、というご意見については、令和 12 年度末をもって廃止という方針をお示しさせていただいた中で、現在は難しい状況です。
- Q 8 (参加者) それでは、廃止予定の令和 12 年度末までは駐車場の手狭、という部分については、保護者が我慢をしろということか。
- A 8 (保育課長) 先ほどご回答させていただいたとおり、中高建設労働組合や中野地域職業訓練センターの駐車場をお借りしたり、職員が旧西友の駐車場を使うことで、少しでも保護者の方が安心して利用できるような対応を行っている状況となります。
- 要望 (参加者) 廃止の方針であったとしても、少しでも保護者の方が安心して利用できる環境となるよう継続して検討いただきたい。
- 回答 (保育課長) 令和 12 年度末に廃止予定だから何も手を入れないということは一切なく、必要な修繕等を行っています。一例として、松川保育園については、和式便器が多く残っていましたので、昨年度全ての便器を洋式化するための改修工事を実施しました。また、今年度は熱中症対策のため、遊戯室へスポットクーラーの導入を行ったところです。
- 要望 (参加者) 必要な対応を行っていただき、ありがとうございます。ただ、施設のことだけでなく駐車場の関係についても、安全対策上必要なことだと思いますので、継続して検討をお願いします。
- 回答 (子ども部長) 松川保育園について、今まで長い間、駐車場の確保等様々な課題について、検討・対応を重ね、現在まで安心安全な保育所運営を実現してきたところです。本日いただいたご意見も参考にさせていただき、引き続き、安心安全な保育所運営を行っていただけるように努めてまいります。
- Q 9 (参加者) 国が真剣に取り組むべきところだと思うが、市として保育士の処遇改善への取り組みはどうか。
- A 9 (保育課長) 手当等も含めて給与面の改善について、取り組んでいるところとなります。また、残業抑制等働き方についても、園と連携しながら必要な取り組みを行っています。
- Q10 (参加者) 松川保育園の立地について、中野地区の北部をカバーする園としての位置付けだったと考えるがどうか。また、素案の 7 ページに記載の運営費の状況について、一般財源が約 94%という

- 記載があるが、全て税収で賄われているかのような印象を受けるので、交付税が主な財源という部分も説明した方がよいと思う。また、保育所について、適正配置という話をされたが、場所（立地）についてはとても重要な要素なので、今まで通っていた地区の方々はどのようになるのか、という部分について丁寧な説明が必要と考えます。
- A10（保育課長） 松川保育園を廃止するという方針を今回出させていただいた中で、保護者の方々からのご意見やパブリックコメントでのご意見で立地の部分について送迎対応等のご意見があるようでしたら検討していきたいと考えます。
- Q11（参加者） 5年後に廃止する園で働く職員がどのように感じるのか、受け止めているのか、という部分について気になりますが、どうでしょうか。
- A11（松川保育園長） 職員会等で園長からも現場の職員に説明をさせていただきましたが、5年後に廃止というのは残念ではありますが、通園する園児が少しでもこの園で楽しい思い出が作れるような保育園づくりをしていきたい、という思いを職員間で改めて共有したところ。本日、地域の方から、とてもいい保育園である、というお褒めの声をたくさんいただけたということはとても嬉しいことであり、本日の座談会について、園の職員にも共有したいと思えます。
- 要望（参加者） 園児のことを第一優先で考えていただきたい。
- Q12（参加者） 保護者の方からの意見（反応）は何かありましたか。また、保育園がなくなることで更に産み育てる環境が悪くなり、人口が減少するのではないかと考えるが、どうか。
- A12（保育課長） 松川保育園の保護者からの意見についてですが、兄弟がいる場合の入園について上の子は卒園できるが下の子は廃止となってしまうので卒園できず転園となってしまうということについて質問がありました。転園については、保護者の希望をお聞きしながら対応していきたいという話をさせていただいたところです。また、新規入園児の受け入れはいつまで行うのかという質問もありましたので、令和12年度まで今まで通り行う予定であるということを回答させていただきました。
- A12（子ども部長） 産み育てる環境や人口減少については、市全体として、どのような子育て支援が必要か、ということを考えながら、例えば給食費の無償化等の支援により、一人でも多くの方に子育てしやすいと感じていただけるような環境を整備してまいりたいと考えています。
- 5 その他
（保育課長） 本日いただきましたご意見等については、後日市公式ホームページで公表する予定となります。また、9月1日から計画素案に対するパブリックコメントも実施予定となります。

Q13（参加者）

今回の座談会について、思っていたよりも参加者が少ないが、周知はどのようにしたのか。

A13（保育課長）

広報なかの8月号、ライフビジョン、市内の子育て支援センター5施設へのポスター掲示、市内の私立保育所等への保護者への周知依頼・ポスター掲示を行ってきたところです。周知が足りなかった、ということであれば、今後に生かしていきたい。松川保育園の保護者については、事前に保護者説明会を現地とオンラインで行っていますので、本日の座談会への参加がなかったものを思われます。

6 閉会
（保育課長）
（終了時間）

午後0時05分

令和7年度第1回 中野市子ども・子育て会議 顛末抜粋	
日時	令和7年9月29日(月) 午後4時～午後5時40分
会場	中野市役所4階 会議室42・43
出席者	<p>【委員】 25名 欠席8名</p> <p>【報道機関等】 北信ローカル社</p> <p>【事務局(中野市子ども部子育て課)】 子ども部長、子育て課長、課長補佐、子ども相談室補佐、保育課長、課長補佐、保育係長、公立保育所園長(1名)、子育て課係員(1名)、保育課係員(3名) <計>12名</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・(1)令和6年度「第2期中野市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について ・(2)令和7年度「第3期中野市子ども・子育て支援事業計画」の目標設定について ・(3)教育・保育施設の利用定員の設定について ・(4)第3期中野市保育所整備計画(素案) ・(5)乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について

【協議会内容】

1 開会 (子育て課長)	(略)
2 あいさつ (子ども部長)	(略)
3 議事	<p>(1) 令和6年度「第2期中野市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について (略)</p> <p>(2) 令和7年度「第3期中野市子ども・子育て支援事業計画」の目標設定について (略)</p> <p>(3) 教育・保育施設の利用定員の設定について (略)</p>
説明 (保育課長補佐)	<p>(4) 第3期中野市保育所整備計画(素案) 資料「第3期中野市保育所整備計画(素案)」に基づき説明 <u>P 1</u></p>

1 ページ 1 計画策定の趣旨でございますが、保育需要の多様化や施設の老朽化などの課題を抱えながら、「第 2 期中野市保育所整備計画」の一部を改定しつつ、整備等を進めてきましたが、令和 7 年度をもって同計画 期間が満了となることから、引き続き、公立保育所の役割を明確化したうえで、子育て世帯の支援体制を整え、子育て環境の充実や保育の質の向上を図ることにより、本市の宝である子どもにとって、安心・安全な保育環境を提供するため、「第 3 期中野市保育所整備計画」を策定することといたしました。

2 計画の位置付けでは、上位計画等と整合を図り、計画期間を令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間とし、必要に応じて見直しを行って参ります。

3 計画の基本方針につきましては、第 2 期保育所整備計画で定めた「公立保育所の今後の整備・運営方針」を踏襲することを基本とするなど、4 点を基本方針としております。

P 2 ・ 3

(2)の現状について、3 ページにかけて、図 1 の将来人口の推計では、令和 32 年、2050 年までのものですが、棒グラフが全体人口と、0 歳から 4 歳を示す折れ線グラフで、ともに減少していくことが推計され、人口減少と少子化がさらに進む傾向にあります。

下の図 2 にあります、就学前児童の人数と公立・私立の保育所への入所率では、年齢ごとに色分けされた棒グラフの児童減少に対し、入所する児童の割合の折れ線グラフは年々伸びております。

P 4 ・ 5 ・ 6

4 ページでは、図 3 の入所児童における 3 歳未満児の保育の割合においても、折れ線グラフのとおり年(とし)を追うごとに、3 歳未満児の人数が全体の入所人数に対し、増加傾向が見られ核家族化や夫婦共働き世帯の影響によるものと思われま

す。次に実際の公立保育所の児童数をご覧いただきたいと思

います。5 ページの上段 表 1 4 月 1 日現在の公立保育所の児童数ですが、定員数では、松川保育園が最も多く 160 人、右隣の 0 歳児から 5 歳児の児童数はご覧のとおりで計の欄、前年度 93 人と比べ、今年度 74 人と児童数は減少しており、その他の全ての公立保育所も同様に減少しております。

このことから、定員に対する、入所率は約 6 割でありますので、どの保育所も受け入れは十分に可能という状況であります。

下の表 2 の私立保育所等の児童数は、前年度と比較しても、大きな減少はなく、ほぼ定員どおりで安定しております。

公立・私立各保育所等の入所児童の居住地区割合では、その保育所に通っている児童の住んでいる地区をグラフで表しています。下の表の緑色の部分は、保育所がある地区に居住する児童数で、やはり自宅から近い保育所を選択する保護者が多く、その他は、自家用車の送迎等で保育所の勤務先に近い園や、通勤経路に近い園などの理由から、地元ではない保育所に通う児童数が見てとれます。

P 7

施設の状況ですが表3の公立保育所の施設の概要では、松川保育園が築46年、たかやしろ保育園が築23年経過し、老朽化が進んでおります。とよた保育園は築31年ですが、永田保育園・豊井保育園の統合に当たり、令和3年度に改修がされ、建物としては健全な状況にあります。その他、松川、ひまわり、ひらおか保育園は、一部借地料があります。

P 8・9

5現状に対する課題でございますが、松川保育園につきましては、施設の老朽化が著しく給排水設備や電気設備等の故障や不具合も多く今後も一層の修繕費が掛かる見込みです。

また、駐車場が手狭のため、保護者の方には、ご不便をお掛けしており、隣接する建物もあることから駐車場の幅は、難しい状況です。

入園希望者は年々減少しており、松川保育園の定員数160人に対して今年度は、児童数74人、定員率46.2%であり、前年度から19人減少し、うち新規入園児も7人減少するなど、少子化の進行により今後も大幅な児童数の増加は、見込めない状況にあります。

これらの課題に対し、6公立保育所の今後の整備・運営方針として、将来人口を見据えたうえで、適切な数の施設を配置することとし、松川保育園につきましては、施設の老朽化が著しく、また、入園希望者が毎年減少傾向にあることを考慮し、近隣の公立、私立の保育量の見込みに対する定員は十分に確保可能であることから、令和12年度末を目標に廃止の方針といたしました。

P 10

(2)保育所の運営方針としましては、一定規模の公立保育所を維持しつつ、保護者の選択肢の拡充や保育サービス向上を目的に、需要を見ながら民間活力の導入の検討をします。

なお、公立保育所の民営化については、今のところ、具体的な計画はなく、今後の状況等を踏まえ、必要に応じて検討いたしま

す。

P 11・12

(3)保育サービスの充実の取組みでは、1 特別保育等の保育サービスに、延長保育、一時的保育、休日保育、病児・病後児保育につきまして、保護者の需要を把握しながら、適正な保育の提供に取り組んで参ります。

2 食育活動の推進につきましては、来月1日から3歳以上児の主食提供を行うなど、食を営む力の育成に向け、食育を推進し、安全安心な給食の提供に努めて参ります。

3 保育の質の向上では、研修の機会の充実、12 ページでは、保育所 I C T 化の推進として、情報発信等の保護者への利便性の向上や保育士の負担軽減を図り、事業を進めて参りたいと考えております。

また、13 ページから松川保育園 保護者説明会、保護者アンケート及び 18 ページから市民座談会の顛末も参考にいただき、整備計画素案につきまして、ご意見等ありましたらお願いいたします。

整備計画素案については、以上です。

質疑応答

Q 1 (委員)

松川地区・東吉田地区など近隣の子どもの割合が多い。さくら保育園及びひまわり保育園の定員でカバー可能なのか。定員増やさくら保育園を大きくするのか。

A 1 (保育課長)

少子化の影響による児童数の減少や近隣の私立保育所(中野マリア幼稚園及びひよこ保育園)も考慮し、受け入れ可能となる想定ですが、今後の状況に応じて計画の見直し等検討してまいります。

Q 2 (委員)

給食提供において、宗教等による食事の制限は対応可能か。

A 2 (園長)

食事制限の内容にもよるため、個別相談とし、対応が難しい場合については、弁当の持参により対応をお願いする場合があります。

Q 3 (委員)

市民懇談会に参加したが、参加者が数人であり、それでは、やりました、というには不十分。集客努力の上でもう1回開催すべきではないか。

A 3 (保育課長)

各種活用可能な周知媒体は使い切って周知しましたが、少人数の参加となったものです。改めて説明が必要であればこちらからいつでも説明に伺います。なお、ホームページ等において、こまめに情報発信を行ってまいります。

(5) 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について(略)

4 その他
(子育て課長)

(略)

5 閉会
(子育て課長)
(終了時間)

午後5時40分

第3期中野市保育所整備計画（素案）に対するご意見と市の考え方

「パブリックコメント」

- (1) 募集期間 令和7年9月1日（月）～9月30日（火）
- (2) 意見提出 4名 ※郵送・持参1名、LINE 3名
- (3) 意見件数 4件

意見の概要（原文）	市の考え方
<p>≪意見1≫</p> <p>■保育園整備は将来の中野市の人口減少防止の為、必要な事業だと思います！同時に中野市に移住しても不安の無い育成と就労先の安定が、不可欠だと思います。その為にも大手企業などの誘致、農業収入の安定が必要だと思います。</p>	<p>≪回答1≫</p> <p>■ご意見として承り、子どもにとって、安心・安全な保育環境の提供を目指してまいります。</p>
<p>≪意見2≫</p> <p>■少子化進行で保育園減少は仕方ないのでは。子供が地域にまんべんなく増える施策を望む。</p>	<p>≪回答2≫</p> <p>■ご意見として承り、子どもにとって、安心・安全な保育環境の提供を目指してまいります。</p>
<p>≪意見3≫</p> <p>■3・4年前保育園の給食室が無くなるかもと言われてすごく心配していたが今は戻っているようで安心した。バランスも味も良く、お友達と食べるので食育の面でも親としてとても頼りにしていたので。財源があるのであれば保育料無償化も良いが無いのであれば（給食費も含め）必要最低限はいただき、その代わりしっかり安定の保育を提供するほうが支持されると思う。 【以下、本計画に係るご意見ではないため、担当課へ共有いたします。】</p>	<p>≪回答3≫</p> <p>■給食提供について、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」で自園調理が原則のため、給食設備を廃止する予定はありません。今後も、安心・安全、かつ園児に喜んでいただける給食提供を行ってまいります。</p>
<p>≪意見4≫</p> <p>■「三位一体の改革」は、改革による急激な歳入不足と地方への負担増が、住民サービスの低下や都市と地方の格差拡大を助長したことです。この改革は国庫補助負担金の改革、税源移譲、地方交付税改革を一体的に行い、地方の自立と責任を確立することを目指しましたが、実施後に財政運営に大きな影響が出たと指摘されています。改革によって地方自治体の歳入が急激に不足し、財政運営に大きな負担がかかりました。その結果、住民に身近な行政サービスが削減され、住民からの不満につながりました。また、行政サービスに係る職員の働き方も変えられま</p>	<p>≪回答4≫</p> <p>■少子化や保育ニーズの多様化など時代の要請に適切に対応していくため、公立保育所の役割を明確化したうえで、公立・民間を含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく必要があります。松川保育園につきましては、施設の老朽化が著しいことや、今後、就学前児童の更なる減少が見込まれること、近隣の保育施設で保育需要を満たすことができることから、安心・安全な保育園運営を行うため、令和12年度末を目標に廃止するものです。</p>

した。また、地方間の格差を生じ、歳入不足は、都市と地方の格差をむしろ助長する結果を招きました。国の関与が縮小され、地方が本来持つべき財源と権限の拡大が目指されましたが、実質的には地方自治体の財政負担が増加する形となりました。それを踏まえまして、中野市行政は、市民にとってのサービスとは何なのかを見直すべきではないでしょうか？松川保育園は居住区児童数率が91.9%と、地元で愛されている保育所を、廃止にするのではなく、規模（延床面積）を縮小改修工事をし、床面積を減らした分、駐車場の拡張の検討を願います。児童福祉施設設置基準法（厚労省）で利用されている児童率から調べると、延床面積は、現在の延べ床面積今よりも半分にしてでも十分運営できる基準だと思います。廃止にしまわす、規模を小さくして、地域に残すことを願います。

■6ページ下の図で定員数に誤りがあります。認定区別1号～3号まで含めると、マリア定数170人新高丘の定員は90人、新平野が定員160人です。

■令和7年度の税収が27,094,000,000円に対して、公立保育運営費が1,140,890,000円。比率は全体の4%しか比率掛かっておりません。公的保育施設運営費が全体の4%。たったの4%って何処が市税の圧迫と言えるのですか？私達、中野市民が頑張って汗水流して稼いだ血税を、中野市民の為に使ってください。中野市民で良かった。中野市民で安心した。中野市で子育てがしたい。中野市で子を産みたい。市民から、そう思ってもらえる様な行政を務めてください。真面目にやってきた人が、報われる中野市を目指しませんか？最後に個人的な意見ですが、保育施設＝サービスではなく、子供達の探求心を育てる場だと思います。その地域、その地域で、施設や環境づくりを行政は、大切に保持して、維持していくことが一丁目一番地ではないでしょうか？

■本計画においては、ご家庭で日々児童を保育することができず、保育を必要とする世帯への環境等を整備する計画であるため、2号認定及び3号認定の定員を記載しています。

■ご意見として承り、子どもにとって、安心・安全な保育環境の提供を目指してまいります。